



大南小だより

平成27年 11月号

栃木市立大宮南小学校 校長 山田 裕之



10～11月は、11/7の大南祭（第2回オープンスクール）をはじめ、市音楽発表会、校内持久走大会など様々な場面で、日頃の学習や練習の成果を発表・発揮する機会が多く、子どもたちもめあてを持って日々よく練習や準備を行い、成長が見られました。特に本校で力を入れているコミュニケーション力については、人と積極的に関わろうとする意欲や人に分かりやすく伝えようとする発表力は、着実に定着しつつあるように思います。保護者・地域の皆様には、多くの場面で学校に足をお運びいただき、子どもたちの成長を見守り、励ましていただきましたこと、たいへん感謝申し上げます。

大南祭【第2回オープンスクール】

11/7（土）

今年はテーマを「ふれ合い、楽しみ、学び合おう。元気な笑顔 大南祭」とし、たくさんの保護者、来入児の皆さんや地域の方々をお迎えして盛大に行われました。大南祭は午前の「ふるさとツアー」「ワールドツアー」と、午後の「PTAバザー」の構成で行われていますが、全体を通して楽しみつつ、いろいろな人とのふれ合いと、学びがテーマになっています。「ふるさとツアー」では、学年毎に、ふるさとの「福祉」「環境」「人との関わり」などテーマを決め、発表しました。今年の発表は、実演・クイズ・PCなどを活用し、分かりやすく伝える工夫が多く見られ、また発表には、多くの感想や質問などが出され、活発な発表会となりました。（上段写真）「ワールドツアー」では、栃木市ALTや市の国際交流協会などにお世話になり、イギリス・アメリカ・ベトナム・ペルーや日本のお茶と琴など、いろいろな国の文化や遊びなどを学び（中段写真）、また「PTAバザー」では、子どもたちも交代して接客を行い、楽しくふれ合うことができました。また昼休みには、保護者の田村奈夢さんの指導でファミリーエアロビで楽しく体を動かしました。（下段写真）講師の先生方、PTA役員及びアシストネットの皆様、地域の皆様方にはたいへんお世話になりました。



6年生大宮北小との交流

11/17（火）東陽中で一緒に学ぶ大宮北小6年生との

交流と大規模校の体験を目的に、体育（タグラグビー）、外国語活動の授業と給食を一緒に行いました。子どもたちの感想を紹介します。「初めとても不安でしたが、クラスみんなが自然と話しかけてくれたので、たくさんの友だちができました。」「大きな学校はたくさんのいろいろな人とふれあえて楽しいなあと思いました。」「わたしは中学校に行くと大人数の中で過ごすことになるので、中学校ではこんなふうになるんだと分かり、とても参考になりました。」「大きな学校は団体行動が早く、素晴らしいなあと思いました。」また、一方大規模校と小規模校の違いを書いた子も多く、大規模校はいろいろな人がいて友だちがたくさん作れる、元気がある、話し合いはいろいろな意見が出る、集まった時ざわついている、机が多くて動きにくいなど。大規模校と比較して小規模校は、全校のみんなの名前が言える、学年関係なく遊べる、コミュニケーション力がある、人の話がよく聞ける、しかしよくないところは、同じメンバーばかりで遊ぶ、大勢の前だと発表の時声が小さくなってしまふことなどを挙げ、自分たちのよさと改善点を考えるきっかけにもなったようです。



「小学生にゲーム機は本当に必要か？」集会後の感想



子どもたちが家庭でゲームやテレビを見る時間が多く問題となっていますが、今回は表題のテーマで、全校話そう集会で意見交換を行いました。10/29に県と市の教育委員会の先生方が学校を訪問する共同訪問がありましたが、本校の特色ある取組として本集会を公開し、参観していただきました。事前のアンケートでは「ゲーム機は必要」と「必要ではない」がほぼ半数でしたが、異年齢グループでの話し後は、3:10で必要ではないが増えました。集会後の子どもたちの感想を紹介します。「わたしは、すこしぐらいならやってもいいとおもいました。でもひつようでないわけは、ともだちとやるときじかんをまもれなくなったり、よるおそくまでやってみがわるくなってしまからです。」【1年生】 「みんなとてもいいことを言っていました。ゲームを使うと、自然とふれ

あわないからダメです。とてもいい話そう集会でした。またこれをやりたいです。」「すごく班長がいい文章を発表していたと思いました。班長は張り切っているなと思いました。そして必要ないというわけは、ゲームをしていると頭が悪くなったり、朝ねぼうをするからです。」【2年生】 「ゲームが必要じゃない人もけっこういて、びっくりしました。ゲームが必要でないわけとかもよくわかりました。」「僕はゲームは必要で、ほしいなと思っていたけれど、話し合っているいろいろな意見を聞き、必要ないと思いました。」【3年生】 「みんなの意見を聞いてどちらとも言えないと思いました。ゲームをやる時ははじめを付けられればいいと思います。」「わたしの班では必要という意見が多かったです。家では、お父さんは必要ではない、お母さんは必要という意見でした。わたしはゲームはあまりやりませんが、他の人が、ゲームを売ったり買ったりするのなら、ゲーム機は必要ではないという意見を言っていたので、わたしも少し考えが変わりました。」【5年生】 「みんなの意見を聞いて、ほぼ全員が必要ないと答えていたけれど、考え方が人それぞれちがいました。必要ないという意見では、勉強や外で遊ぶ時間を減らしてまでゲームすることはないという理由で、確かになと思いました。」「1年生も必要ないと言っていたので、驚きました。それにきちんと理由も書いていたので、とても分かりやすかったです。」「親の意見を聞く内に、そうかもな、と考えました。特に暴力的になる、という意見はとても驚きました。親はこう思っているんだなと思いました。」「一人一人考えていることはちがうので、意見を伝え合うということは大切だなと、改めて思いました。」「今回の話し合いで、ゲームばかりしていると家族と話すことが少なくなるという意見を聞き、ほくも家族と話をしていなかったので、ゲームをするのを少しひかえようと思いました。」【6年生】 子どもたちは、話し合いの中から多くのことを学びます。家庭でゲームをやる時の約束やきまりがないという家庭が半数ありましたが、ぜひご家庭でも話し合いを持ち、自律的な態度の育成に心掛けていただければと思います。

6年生修学旅行

10/21(水)～22(木)



6年生の修学旅行は蔵の街ウォーク・日光校外学習から続く一連の学び「人と関わりふるさとや自分を見つめよう」の集大成として、

本年度は特に目玉的なグループ行動(鎌倉・横浜)と、人との関わりを重視して行いました。今年から交通機関も各自suica・pasmooを利用し乗り換えもスムーズになり(湘南ライナー等利用)、少人数を生かした小回りのきく旅行となりました。子どもたちは、多少道に迷ったりしながらも、まとまりのあるグループ行動を行い、また今までの経験をよく生かし、積極的に外国人の人たちに話しかけたりと、一人一人の成長がよく感じられる修学旅行でした。

御礼 PTAバザー収益は約149千円でした。ご協力いただいたPTA・地域の皆様方ありがとうございました。

表彰おめでとう!

〇とちぎふるさと写真俳句コンクール課題句部門

下野新聞社長賞 6年遠藤真亜沙 優良賞 6年大木勇汰郎 **自由句部門**

栃木市長賞 6年山納郁希 優良賞 2年山岸夢歩 5年田中妃奈

〇**第38回栃木県学生音楽コンクール ピアノ部門**銅賞 6年出井公人

〇**第3回親守詩栃木県大会入選** 2年大橋希海

〇**宇都宮市小学生体操競技交流大会** 団体総合第4位及び**栃木県ジュニア体操競技大会** 団体総合第3位 3年伏木光来

〇**下部地区読書感想文コンクール**

優良賞 1年氏田知彰 出井里奈 2年須田耀太 3年國分柚葉
4年田村夢龍 5年和田基秀 6年猿山采花

〇**大宮南小暗算の達人検定 合格証書**

4級 6年田村唯 遠藤真亜沙 長梨々花 山納郁希 出井公人
5級 5年久納翔 6級 5年瀬下龍生 横島流衣 6年猿山采花
大木勇汰郎 穴田翔大 7級 5年竹川明日翔 田村暢裕 和田基秀
8級 5年星達也 猿山大翔 田村啓展

〇**栃木地区陸上大会Bブロック**(全て6年生)

80mハードル3位 山納郁希 200m4位 大木勇汰郎 100m5位
寺内美貴 1000m4位 猿山采花 ソフトボール投げ4位 森脇梨香
走り幅跳び3位 猿山采花 6位 長梨々花 走り高跳5位 水柿奏里